株式会社ＦＰＧ
お客様本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する
取組状況について(2025 年 10 月～2026 年 9 月)

株式会社ＦＰＧ（以下「弊社」といいます。）は、「ＦＰＧグループ　お客様本位の業務運営を実現するための取組方針」（以下「ＦＰＧグループ取組方針」といいます。）に基づき、お客様本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組状況を定期的に公表することにしております。

過去１年間（2025 年 10 月～2026 年 9 月）における弊社の取組状況は以下のとおりでございます。

1．お客様本位の業務運営の遂行

ＦＰＧグループでは、コンプライアンス・ポリシーを制定し、お客様の最善の利益を勘案し、誠実・公正なお客様本位の業務運営を遂行するために実践すべき事項を定めております。また、コンプライアンス・ポリシーのグループ全役職員における浸透度やコンプライアンス関連事項の理解度を計るため「コンプライアンスに関するアンケート調査」を継続して実施し、その結果は経営陣と共有しております。このアンケート結果の分析や、金融商品の組成・販売・管理を担う各部門間またはグループ会社間の情報連携等により、全社的もしくは部門ごと、または階層ごとに重点的に対応すべき事項を特定し、効果的な改善施策を検討推進することで、お客様本位の業務運営の重要性をより深く周知徹底させ、コンプライアンス意識の向上を図り、お客様にとって最善のサービスをご提供できるよう取り組んでおります。

2．利益相反の適切な管理

ＦＰＧグループでは利益相反管理規程に基づき、個々の取引について類型に当てはめながら対象取引を特定し、その都度個別に利益相反を管理しております。グループ各社と利益相反の可能性を確認しながら、お客様の利益を不当に害することがないよう、ＦＰＧグループ各社は連携して利益相反管理に取り組んでおります。

3．手数料等の明確化

お客様にご負担いただく手数料等については、販売資料に洩れなく具体的に表示しております。弊社の提供する金融商品・サービスは多種多様で複雑ですが、手数料等については、引き続きお客様にとってなるべく分かりやすく理解しやすいよう体系的に記載しております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

弊社では、金融商品・サービスに関する販売資料を、取引経験や金融知識が少ないお客様であっても、金融商品・サービスの仕組みやリスク等の重要な情報について十分に理解いただけるよう作成し、より分かりやすい内容や見た目となるよう継続的な見直しを実施しております。また、マーケット環境や法規制等の変化も踏まえ、お客様に必要とされる重要な情報を分かりやすく丁寧に提供してまいりました。

5. お客様にふさわしい金融商品・サービスの提供

お客様にふさわしい商品やサービスの提供を実現するため、お客様の資産状況、取引経験、知識及び取引目的、ライフプラン等を含むニーズを踏まえて対応いたしました。例えば、不動産信託受益権や受益証券発行信託の販売において高齢者や契約締結にあたり一定の配慮が必要な方向けの販売ルールを設け、コンプライアンス部門関与のもと適正に運用される体制を構築しております。また、お客様にとって、より利便性の高いお取引を提供するために、リースファンドの販売に続いて不動産信託受益権および海外不動産ファンドの販売においてオンライン取引を導入しました。これによりお客様の事務負担の軽減や手続きの迅速化を実現しております。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

弊社では全役職員が積極的にお客様本位の取り組みを実践した結果、具体的な成果や真摯な努力などが認められれば、人事評価に反映させております。また、法令諸規則を遵守するとともに、お客様へ適切なご説明を行うため、金融商品取引法など法令等の勉強会や取扱商品全般に亘る各種の勉強会など新しい知識獲得の機会を積極的に設け、全役職員の取組意欲の向上に努めております。また、様々な資格の取得を義務付け、あるいは奨励をしております。

今後につきましても、引き続き「ＦＰＧグループ取組方針」に基づき、お客様本位の業務運営を実現すべく、全社一丸となって取り組んでまいります。

以上